

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センター にじっこ田川（児発）		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64名	(回答者数) 47名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月20日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ハグアプリやSNSを活用した「毎日の可視化」により、ご家庭との密接な連携を実現しており、保護者からも信頼と満足度を得ています	保育園や相談支援事業所との情報交換（会議参加等）を積極的に行い、一体となった重層的なサポート体制を構築しています。	アンケートの声を反映し、保護者同士の交流会や障がい理解のための勉強会を定期開催することで、ご家族全体の支援を強化していく
2	ヒヤリハットの共有やアレルギー対応の周知徹底など、全職員が危機管理を「自分事」として把握できるチーム体制が確立しています。	小さな怪我や体調変化でも即座に保護者へ報告するなどを行い、対面やLINE等でいつでも相談しやすい環境作りを行っています。	外部研修への参加による支援技術の向上を図るとともに引き続き、ICT活用による事務効率化を推進し、職員がお子さんと向き合う時間を最大化できる体制を整えます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全ご家庭へ年2回（半年に1回）の定期面談を実施しているものの、一部で「相談機会がもっと欲しい」という潜在的なニーズとのギャップが生じています。	定期面談の枠組みは強固ですが、日常的な些細な不安が生じた際に「次の面談を待たずに今すぐ相談して良い」というアナウンスが十分に浸透していない可能性があります。	ハグアプリや公式LINEにて「随時相談・個別面談はいつでも受付中」である旨を定期的に発信します。定期面談の「点」の支援を、日常的な相談の「線」で繋ぐ意識を共有し、安心感を高めます。
2	地域イベントへの参加や保育園との交流など、事業所外との連携が少ない	事業所内での支援環境を整えることを最優先としてきたため、地域資源の活用や外部からの客観的な評価を取り入れる仕組み作りが後回しになっていたと考えられる	近隣の公園清掃や地域行事への参加を段階的に検討を行い、地域社会への周知を図ります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達支援センター にじっこ田川 (児発)					公表日	令和8年4月20日		
	保護者数	回収数	回収率	利用児童数	64名	47名	73.4%	64名	回収数 47名(裏面未記入2枚)
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46			子どもが十分に走り回れる空間があり いいと思う 室内も広く、外も走り回れる 部屋の数もお外の庭も十分にスペース があるとします	引き続き、お子さんと気持ちのいい環境 で、楽しく体を動かしていきたいと思 います		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	42	1	4	ちゃんと子どもたちに対応してくれる 私自身、配置数を把握できていない	ありがとうございます。国に定められた 職員数はいるので引き続き保護者の方 に安心してもらえるよう最善を尽くしま す		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	47			子どももトイレなど把握できて トイレの場所や手洗い場、各教室がわ かりやすかったです	イベント時などにお子さんが「トイレ ごっこー」と保護者の方に教える姿が とっても可愛いと思見えています。引き 続き、お子さんに分かりやすい環境の設 定を行っていきます		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います か。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	47			整理整頓されてどこに何があるか子 どもわかりやすくなっていると思う 清潔で環境も整っている 常に綺麗で日光も良く入り明るい印象 です	ありがとうございます。引き続き、活動 に合わせた活動空間を作っていきます		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	47			子どもに合わせた療育をしていただき 嬉しいです 子どもに合わせた対応してくれる 1人ひとりの特徴をしっかり把握してそ の子に合わせたプラン ^⑥	引き続きお子さんのことを深く知るよ う、たくさん関わっていただけたいな。 と思います		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	44		3		周知できるような方法を検討していま す。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されている と思いますか。	47			支援計画をアプリで確認できるので、 いすべきことが明確でわかりやすい です わかりやすく、納得して通わせられま す	引き続き、ハグアプリを使用し、“わか りやすい”と思ってもらえるよう最善を 尽くします		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す 支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、 具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46		1	毎回子どもが楽しく遊び感覚で自立で きるように設定されていたりと、具体 的に記入されていてわかりやすい	全員の計画書に「本人支援」「移行支 援」「家族支援」「地域支援」が入って います。引き続き、保護者の皮Tに分か りやすい提示を行っていきます		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47			本人に合わせたプランだと思います	引き続き、職員と連携を行い、そのお子 さんにあった支援方法を行っていきます		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	44		3	成長時期に合わせて変化してプランを 組んでくれています	引き続き、そのクラス（年齢に沿った活 動）やお子さんの特性に合わせて活動を 検討していく		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこども と活動する機会がありますか。	31	3	1	12	色々な行事があり良いと思います	必要に応じて今後検討を行っていきます	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	46	1			私自身よくわかっていないことがある が、わかりやすく記載されています 対面での説明もしてくれました	契約時にご説明をさせていただいており ます。引き続き、保護者の方がわかりや すいような説明の仕方を心がけて参りま す	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました か。	46			1		ハグを使用したことで、“分かりやすい” と言うお声が多く聞かれています。引き 続きICTの活用を行っていきます	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	42	1		4	保護者向けの勉強会があれば障がい に対する知識を学ぶ機会ができて嬉しい です あつては知っています	全体的なペアトレではなく、各ご家庭で 必要なお子さんに関しては、管理者・児 発管・クラス担任他とご両親と行って います	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	47				今思っていることや不安なことなどをすぐに聞いてくれて対応も良いので安心して預けています 私たちからはなかなか伝えられておらず申し訳ないですが、にじっこからは毎回1日の様子を伝えていただき成長を感じています いつも活動や様子を詳しく教えてくれ、写真まで見せていただいているのでとても安心してます お迎えに行った時にその日の様子を教えていただけるのは嬉しいです アプリで1日の様子がわかります	ありがとうございます。引き続き”話しやすい””身近な施設”を目指して、保護者の方とともにお子さんの成長を共有していきたいらと思います
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	46	1			定期的な面談で子ども成長を感じる事ができてありがたいです。 毎回の先生からのコメントでも伝わってきています♡ くだらないことや些細なことで相談や質問をしていて私の方が迷惑かかっています 一緒に考えてくれるのも本当に助かっています 面談が少ない気はします。	半年に1回、全ご家庭に声掛けを行い、面談を行っています。お仕事等の関係で時期がずれてしまうこともありますが、引き続き、柔軟な対応を行ってまいります。 引き続き、ラインや電話等を使用し、連絡しやすい環境を整えていきます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47				息子の時から寄り添っていただいて本当にありがとうございます。 いつもありがとうございます	身近であたたい施設を目指し、今後もお子さんの成長に携わっていただけたいと思います
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	38		1	8	夏祭りや餅つきイベントの時だけではなく保護者同士の交流する機会があれば嬉しいです 行事が楽しいです	イベント以外での保護者交流会等踏まえて、今後検討していきます
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45				どの先生方も親身に話を聞いてくれてちゃんと説明してくれ、周知も早く適切に対応してくれています いつも丁寧に対応してくださって感謝しています アプリや対面で相談しやすい環境で対応も良い	引き続き、どの職員にも”話しやすい施設”を目指していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	45				気軽に対面やラインアプリでできる	ラインや電話ハグアプリを使用し、いろいろな情報伝達の仕方を行っています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	43			2	毎日更新されていてわかりやすい 私の方が返事ができていなくて申し訳ありません アプリでの活動報告を毎日楽しみにしています。インスタでも活動の様子が見れてどんなことをしているのかわかるので安心です	インスタグラムに活動風景を載せるのは、私たちも楽しみになっています。 活動報告では、クラスによって記入すること等を行い、分かりやすい記載を引き続き行っていきます
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43				2	SNSや活動報告に写真を載せる時には、お子さんが特定されないよう最新の注意を払っています。引き続き、個人情報を大切に扱ってまいります。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	43	1		1		玄関先に置いているが、今後は、分かりやすい定時の仕方を検討していきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	44			1	実際に訓練の様子をアプリで知れました	毎月1回避難訓練を行っています。避難訓練係のみ日時を事前に打ち合わせ実施することで、日頃から自分の役割（災害時の）を意識したり、避難ルートを確認しながら活動を行う意識を持ちながら職務につくことが出来ています
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	45				アプリで様子をみました	・保護者の方が、分かりやすい形で周知できる方法を検討していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	42	2		1	まだ事故ないので何とも言えませんが、きっと速やかな対応、連絡くると思う 小さなケガでも報告していただけるので安心です 該当事案なし 電話での情報共有早いです	事故が起きたときには、保護者の方に速やかに連絡を行うと同時に必要に応じて医療機関や関係機関と連絡を行います。

満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44	1	仲の良い友だちもいて楽しそうです 楽しみながら通ってます	安心感なしでは、お子さんと信頼関係を作る事は不可欠だと思っています。引き続き、お子さんが安心した気持ちで来所できるような環境を整えていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45		毎日にじっこ行きたいと言ってるぐらい楽しいみたいで、そう思える環境を作ってくださいありがとうございます。 とても楽しみにしています。先生と車に会えるのを楽しみにしているようです。 自宅からの送迎の時は朝バスが来るのを窓からいつも見て待っています 今日にはじっこだ～イエイエーイと言っています とても楽しみに通っています。 嫌がることなく進んで行こうとするので本人もにじっこで過ごすのが楽しいんだろうなあと思います。いつもありがとうございます。 活動の内容や給食、お友だちや先生との触れ合い全てを楽しんでいるようです	たくさん嬉しいお言葉をいただき、本当にありがとうございます。 にじっこを楽しみにして通ってくれていること、職員一同とても嬉しく思っています。 バスを待っている様子や、「今日はにじっこだ～！」と喜んでくれているお話などを伺い、私たちも自然と笑顔になりました。 活動やお友だち、職員との関わりなど、さまざまな時間を楽しんでいただけていることをとても嬉しく感じています。 これからも安心して楽しく過ごせる場所であり続けられるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	45		一年一年できることが少しずつ増えています。楽しそうに活動も頑張ってたくさんの笑顔が見られています。ありがとうございます。 発達障がいの本を読んだり勉強したりしてもなかなか自分ではできません。本当に通わせてよかったです 毎日でも通わせたいくらいです 大満足です。感謝の気持ちでいっぱいです 個性たっぷり子どもたちがいて、大変なことでも沢山あると思いますが、愛情たっぷりで接してくれることがとても伝わってきます。家族みんな感謝の気持ちでいっぱいです。いつもありがとうございます♡記録や写真もとても丁寧で様子がわかって嬉しい反面、先生方大変だろうな・写真1～2枚でいいですよ!! 無い日があってもいいですよ!! という気持ちです hugアプリ活用もし、連携しやすい	たくさん温かいお言葉をいただき、本当にありがとうございます。 お子さんの「できた！」が少しずつ増えていくことや、笑顔で過ごしてくれていることを一緒に喜べることを、とても嬉しく思っています。 「通わせてよかった」「大満足です」といったお言葉や、日々の関わりへの温かいお気持ちは、職員にとって大きな励みです。 また、記録や写真、アプリでのやり取りについてもお気遣いいただきありがとうございます。今後も無理のない形で、お子さんの様子をお伝えしていけたらと思っています。 これからも一人ひとりのお子さんの個性を大切に、安心して過ごせる場所であり続けられるよう努めてまいります。 今後ともよろしく願いいたします。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援センターにっこ田川（児発）		職員数	9名	提出数	9名	提出率	100%	公表日	令和8年4月20日
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・部屋の大きさは適切だと思います。 ・小さな部屋があると、また、違った使い方（クールダウン）等出来るとは思いますが、あいている部屋（相談室や事務室、放デイの部屋等）を使うことが出来ています。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・国に定められた人数はいます。	・感染症等が流行ると、必然的に職員人数も減ってしまうことがある。 ↓ ・必要に応じて放デイの先生にサポートしてもらっています				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・必要に応じて先生たちと話をし、お子さんがわかりやすいような視覚的支援を提示しています ・クラスによって、視覚的支援のイラストを変え、年齢や特性に応じて対応しています					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・1日の終わりに必ず、掃除をしています。 ・整理整頓が課題の所もありますが、お互いに声を掛け合いながら、美化を保っています。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		お子さんが、クールダウンが必要で、なおかつ対応が難しい時には、ほかの先生に代わってもらえる環境です（対応する人をかけることが早い切り替えになることもあるとき）					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・クラス会議の時にすることが出来ています					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・アンケート結果を共有し、保護者の方からの意見を真摯に受け止め、業務改善に向けての話もあります。 ・毎回、保護者の方からあたたかいお言葉をいただけることが嬉しいです					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・必要に応じて、職員会議で意見を出し合い、改善に向けてみんなで話し合うことが出来ています					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	・その制度があると聞いています					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・毎月の職員会議で、勉強会を行っています。 ・個人で興味がある研修に行っています					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		6					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・インフォーマルなアセスメントを使用し、職員間で共有しています					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・そのお子さんに関わる職員と話をし、まとめることが出来ています					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・特にクラスのお子さんの計画は、寝入りにチェックできています					

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・インフォーマルなアセスメントを使用し、職員間で共有しています	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・クラス会議の時に、しっかりと話し合うことが出来ています。 ・職員数の関係で、急遽変更になることもありますが、周囲の先生に周知しながら行っています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	・目的に応じて遊びを考えています ・遊びのアレンジなどは加えたりもしていますが、同じ経験を積むことで、上達することやルール理解が深まるお子さんもいます。固定化はしていませんが、同じような活動を何度かすることはあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・朝礼を行い、情報の共有を行っています。 ・ホワイトボードを使用し情報の共有をしています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・勤務時間の関係で、全員ではないが、終礼を行い情報の共有を行っています。 ・ホワイトボードを使用し情報の共有をしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
関係機関や保護者	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・モニタリングのお子さんに関しては、クラス会議の中で話をしています	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・参加した後に必要に応じて迅速に全職員に情報の共有が出来るよう心掛けています。 ・話し合った内容を整理し、その月の職員会議時に共有をしています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・半年に1回、内科検診をお願いしています ・保育園などに通っているお子さんに関しては、所属している園さんの検診結果表をいただいています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・そのお子さんに応じた利用回数になっているのかを関係機関と話し合いながら、そのお子さんが、地域で安心して過ごせるようサポートしています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・そのお子さんの特性をポジティブに受け止めて頂けるよう細心の注意を払い、必要に応じて直接の説明（引継ぎ）を行うなどを行っています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	9		・事業所の話し合う場などでは、各事業所の方と意見交換を行うことが出来ています	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	3	・法人からの研修案内が来た時には、興味のある研修を選び研修を受けることが出来ています	

こ の 連 携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9		・管理者が参加しています	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	2	・地域の児童発達支援センターと連携を行える関係であると思います。スーパーバイズや助言については分かりません。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	・地域の公園などに行った時に地域のお子さんと一緒に遊ぶことはあります。 ・色々な特性を持っているお子さんもいるため、保育園などとの交流会については慎重に決めていかなければいけないと思う ・保育園などに行っているお子さんも多くいます	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・保育園送迎で保護者の方にお会いできないご家庭もあるため、なるべく電話やライン、ハグを使用し、保護者の方に身近に感じてもらえるようにしている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・お子さんの状況をみながら、必要な家庭については、ご両親と管理者クラスの担当職員と家族支援を行っています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に全てのご家庭に必ず行っています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・定期的な面談や日々のやりとりを行いながら、反映しています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		・ハグアプリでいつでも確認が出来る為、便利。と保護者の方からのお声をいただくことが多いです	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・面談や、ご家庭の方からの連絡を受けて、解決に向けての方法と一緒に考えること等を行っています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	・保護者の方ご親戚、ごきょうだい見のお子さん合同でのイベントを行っています	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・はい。ラインや電話、ハグアプリでアクセスしやすいと思います。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・インスタグラムや、ハグの活動報告の場所で、日々のお子さんの様子を伝えていきます	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・SNSやハグに活動報告の場所でお子さんが特定されないよう細心の注意を払っています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・アンケート等についても、わかりやすい日本語を使用したり、配布物などもラインのアルバムで管理すること等を行い、“分かりやすい”を心がけています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	・お餅つきの際には、商工会の方が来てくれたりしました	・色々なご家庭のお子さんが利用されているので、色々な方が施設に来れるようになると、安全でない状況を作るのではないかと不安もあります
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・防犯対策として、お迎え時には、全ご家庭の方に“引き渡しカード”の提示をお願いしています		
46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・毎年11月頃に保護者の方に協力してもらい、引き渡し訓練をしています		
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・職員間で共有し状況の確認をしています		

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・毎年、アレルギーのあるお子さんに関しては、提出してもらい、全職員で共有していません	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	・玄関に提示しているので周知が出来ているかはわからない	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・毎月、ヒヤットしたことを職員で共有し大きなことになる前に改善策を考えています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・虐待に関する研修会では、どのような状況で起こりやすいのか、防ぐためにどうするかを話し合っています	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		・該当児なし。今後必要なお子さんがおられた場合は慎重に検討していく	